

シルヴィウ・プルカレーテ(演出)

Silviu Purcărete

ルーマニアを代表する演出家のひとり。ルーマニアはもちろん、イギリス、オーストリア、フランス等でも演出を手がける。フランス政府からシュバリエ章、ルーマニア政府より国家勲章を受ける。彼の作品はエディンバラ、アヴィニョン、メルボルン、モンリオールなど世界中の権威ある演劇祭などで上演されている。エディンバラフェスティバル批評家賞最優秀作品賞、ピーター・ブルック賞、ダブリン演劇祭批評家賞等、受賞多数。

ルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場/シビウ国際演劇祭

Radu Stanca National Theatre from Sibiu

ラドゥ・スタンカ劇場は、1788年に建設された伝統ある劇場。2000年にコンスタンティン・キリアックが芸術監督就任以降その活動が評価され04年に国立劇場となった。約50人の俳優が所属し、古典から実験的作品までシーズン中に約70作品、年間に新作10数本を上演し精力的に活動している。また94年以降毎年開催されるシビウ国際演劇祭の共同主催者でもある。シビウ国際演劇祭は、世界約70か国の芸術家が参加し、エディンバラ、アヴィニョンに並ぶ規模を誇る。

ルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場

「ガリバー旅行記」「オイディプス」

10月15日[木]—23日[金] 東京芸術劇場 プレイハウス



*ロビー開場は開演の30分前 *客席へのご案内は開演の10分前(予定)

「オイディプス」松本公演…10月25日[日] 14:00 まつもと市民芸術館 実験劇場(お問合せ まつもと市民芸術館 0263-33-3800)

◎チケット料金 各公演 全席指定(税込)

S席	¥5,500	25歳以下(A席)	¥3,000
A席	¥4,500	65歳以上(S席)	¥5,000
高校生割引	¥1,000	2公演S席セット券	¥10,000

*A席は一部見えにくいシーンがある場合がございます。

*25歳以下チケットは席をお選びいただけません。

◎チケット取扱

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296(休館日を除く10:00~19:00)

PC…http://www.geigeki.jp/ 携帯…http://www.geigeki.jp/i/

- ◆チケットぴあ http://pia.jp/t/ (PC・携帯) 0570-02-9999(24時間・音声自動応答)
- ◆ローソンチケット http://l-tike.com/ 0570-000-407(10:00~20:00 オペレーター)
- ◆イープラス http://eplus.jp/ (PC・携帯) 0570-084-003

| Pコード | 「ガリバー旅行記」446-187/「オイディプス」446-197 | Lコード | 「ガリバー旅行記」37669/「オイディプス」37670

- *未就学児はご入場いただけません。
- *2公演セット券、65歳以上、高校生割引は、東京芸術劇場ボックスオフィスにて前売りのみ取扱い(枚数限定・要証明書)
- *障害をお持ちの方は、割引料金にてご観劇いただけます。詳しくは劇場ボックスオフィスまで。
- *託児サービスのご案内: 東京芸術劇場託児施設「だっこルーム」03-3981-7003(事前申込制・平日10:00~17:00)

◎お問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296(休館日を除く10:00~19:00)

25th Anniversary 東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1 TEL:03-5391-2111



ガリバー旅行記 TRAVELS GULLIVER'S



RADU STANCA NATIONAL THEATRE FROM SIBIU

開館25周年/芸術フェスティバル

ルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場

OIDIP OI DIP



衝撃の舞台「ルル」から2年、ルーマニアの鬼才シルヴィウ・プルカレーテ演出作 2演目連続上演!

2015.10.15[木]—23[金] 東京芸術劇場 プレイハウス

[ルーマニア語上演、日本語・英語字幕付]

主催 = 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 東京都/アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団) 後援 = 在日ルーマニア大使館 フェスティバル/トーキョー15 連携プログラム 平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業



東京芸術劇場 Tokyo Metropolitan Theatre

ガリバー旅行記 GULLIVER'S TRAVELS

10.15[木] 19:00開演

17[土] 18[日] 14:00開演

演出:シルヴィウ・プルカレーテ Silviu Purcărete

ジョナサン・スウィフト作「ガリバー旅行記」による

シルヴィウ・プルカレーテは、痛烈な社会風刺が織り交ぜられた空想的な作品、ジョナサン・スウィフト「ガリバー旅行記」から想を得て、まるで一大抒情詩とも言うべき舞台作品を創りあげました。物語は「ガリバー旅行記」の第4篇、馬の姿をした高貴で知的な種族フウイヌムと、邪悪でけがらわしいヤフー(人間)が登場する「フウイヌム国渡航記」の一節が語られる中、スウィフト自身の晩年の物語として始まります。舞台上を歩き来する馬に扮した女性たち、本物の生きた馬、無邪気さを象徴することも、スーツに身を包みブリーフケースを持つ男たち——。スクリーンに映し出される影や照明、シャウン・デイビーによる音楽などさまざまな手法を駆使して、人間のエゴイズムや孤独、階級意識といったさまざまなテーマを鮮烈に描き出します。

プルカレーテ演出ならではの、グロテスクでありながらも美しく幻想的な本作は、2012年にシビウ演劇祭で上演された後、エディンバラフェスティバルでも好評を博した注目作です。



鮮烈かつ大胆な演出が際立つ2作「ガリバー旅行記」「オイディプス」を連続上演します。

エディンバラ、アヴィニョンに並ぶ欧州第三のフェスティバル「シビウ国際演劇祭」の中心劇場、ルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場が2年ぶり待望の来日！

OIDIP オイディプス

10.21[水] 22[木] 19:00開演

23[金] 14:00開演

演出:シルヴィウ・プルカレーテ Silviu Purcărete

ソポクレス作「オイディプス王」「コロノスのオイディプス」による

古代ギリシャ悲劇を代表する作家ソポクレスが75歳で書いた「オイディプス王」、それから25年後の90歳の時に書いた「コロノスのオイディプス」。プルカレーテは、ほぼ同じ主題ながら違うフォルムで書かれたこの2作を、大胆に翻案して一つの舞台作品としてまとめあげました。悲劇的な宿命を負った人物オイディプスの伝説が、プルカレーテの強烈な創造性によって鮮やかに再構築され、現代にも通じる悲痛な物語として甦ります。

オイディプス役を演じるのは、ラドゥ・スタンカ劇場の芸術監督も務めるコンスタンティン・キリアック。オイディプスの妻であり実の母イオカステと、長女アンティゴネの2役を演じるのは、前回の来日公演「ルル」で主演を演じ憑依的な演技で観る者を圧倒した女優オフェリア・ポビ。

かつて王だった時代の妻とともに過ごす享楽の日々、自身の罪を知り盲目となったのちの転落の日々が鮮やかに対比され、プルカレーテ演出が冴えわたるドラマティックな作品です。

